

Economic Indicators

発表日: 2023年1月27日(金)

主要経済指標予定(2023年1月30日~2月3日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(1月30日~2月3日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果	
1月30日 (月)						
1月31日 (火)	8:30 12月労働力調査 完全失業率	2.5%	2.5%	2.5%~2.6%	2.5%	
	8:30 12月一般職業紹介状況 有効求人倍率	1.36倍	1.36倍	1.35倍~1.38倍	1.35倍	
	8:50 12月商業動態統計・速報 小売業販売額(前年比)	+3.4%	+3.2%	+1.4%~+4.0%	+2.5%	
	8:50 12月鉱工業指数・速報	生産(前月比)	▲1.3%	▲1.2%	▲2.0%~+0.4%	+0.2%
		(前年比)	▲3.9%	▲3.9%	▲4.0%~▲2.6%	▲0.9%
	14:00 12月住宅着工統計	新設住宅着工戸数(前年比)	+1.9%	+0.3%	▲1.5%~+2.3%	▲1.4%
		(季調値年率)	85.1万戸	84.5万戸	82.4万戸~85.7万戸	83.8万戸
	14:00 1月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯、季調値)	—	—	—	30.3	
	14:00 12月サービス産業動向調査 売上高(前年比)	—	—	—	+6.9%	
2月1日 (水)	14:00 1月新車販売台数 乗用車(前年比)	—	—	—	▲5.5%	
2月2日 (木)	8:50 12月マネタリーベース (前年比)	—	—	—	▲6.1%	
2月3日 (金)						

12月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：2.5％／1.36倍 中央値：2.5％／1.36倍

失業率は前月から横ばい、有効求人倍率は改善を予想。水際対策の緩和により外国人観光客が増加していることに加え、全国旅行支援の効果で国内旅行も増加している。宿泊業等の関連業種では人手不足感が強まっており、求人の増加が予想される。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

12月小売業販売額 当社予想：前年比+3.4% 中央値：同+3.2%

12月も新型コロナウイルスの感染者数は拡大したものの、消費下押し度合いは限定的なものにとどまったとみられる。実質値でみた財消費は均してみれば横ばい圏で推移した模様。なお、サービス消費ははっきり持ち直しているとみられ、10-12月期の個人消費は増加となった可能性が高い。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

12月鉱工業生産指数 当社予想：前月比▲1.3% 中央値：同▲1.2%

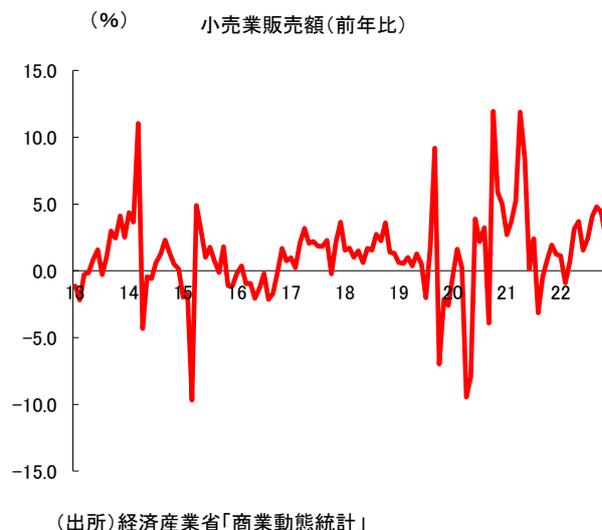
12月の鉱工業生産は、前月比▲1.3%の低下を予想する。12月は感染拡大が続く中国を中心に、輸送用機器等で実質輸出が下振れた。こうした外需の減少により、鉱工業生産も下押しされたと予想する。先行きについては、海外経済の減速に伴って輸出は減少に向かう可能性が高く、鉱工業生産も下振れる可能性が高い。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

図表1



図表2



図表3



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。